

関西広域連合構成府県・市政記者クラブ配付

資料提供			
月日	発表者	問い合わせ先	
		電話番号	担当者
令和5年3月14日(火) 14:00	関西広域連合本部事務局 地方分権課	06-4803-5674	柳生、深尾

琵琶湖・淀川流域シンポジウム「気候変動とどう向き合うか～琵琶湖・淀川流域を巡る治水・利水・そして自然環境保護のドラマ～」の申込締切延長について

関西の社会・経済・文化を支えている「琵琶湖・淀川流域」。その暮らしと未来について考える「琵琶湖・淀川流域シンポジウム」の開催については、令和5年1月24日付けでお知らせしたところです。

このたび、申込締切を**3月17日(金)**まで延長することとしましたので、お知らせします。

記

- 日時 令和5年3月20日(月) 14時00分から16時40分まで
(※同時開催の展示は13時から17時まで)
- 場所 大阪府立国際会議場(グランキューブ大阪)12階 特別会議場
※オンライン同時開催
- プログラム
14:00 開会(開会挨拶)
14:05 講演1 塩見泰子氏(気象予報士、防災士、健康気象アドバイザー)
「これからどうする?～関西の暮らしと気候変動～」
14:35 講演2 森信人氏(京都大学防災研究所 副所長/教授)
「気候変動と淀川流域や大阪湾の水害リスクの今後」
15:05 講演3 三和伸彦氏(滋賀県 理事(琵琶湖政策・MLGs推進担当)、(公財)琵琶湖・淀川水質保全機構 理事長)
「琵琶湖・淀川における流域の取組み～過去・現在から未来～」
15:30 MLGs 体操 マザーレイクゴールズ(MLGs)を「からだ」で表現する「MLGs 体操」を体験
15:35 休憩
15:50 トークセッション「これからの琵琶湖・淀川流域 ～このドラマをどう紡ぐか～」
(1)活動紹介 NPO 法人国際ボランティア学生協会 IVUSA
「大学生ボランティアによる環境保全活動～琵琶湖を守るための第一歩～」
(2)トークセッション
<コーディネーター>多々納裕一氏(琵琶湖・淀川流域対策に係る研究会座長、京都大学防災研究所 教授)
<参加者>塩見泰子氏、森信人氏、三和伸彦氏、NPO 法人国際ボランティア学生協会 IVUSA
- 同時開催展示 「これからの琵琶湖・淀川流域 ～このドラマを紡ぐために～」
(参加団体) 関西広域連合、NPO 法人 国際ボランティア学生協会 IVUSA、
(公財)琵琶湖・淀川水質保全機構、(独)水資源機構 関西・吉野川支社、
マザーレイクゴールズ推進委員会、滋賀県(琵琶湖環境部、土木交通部)、
水都大阪コンソーシアム、(公社)2025年日本国際博覧会協会
- 参加費 無料
- 定員 400名程度(会場200名、Web200名)
- 申込方法 下記申込フォームから申込をお願いします。
○申込フォーム <https://forms.gle/3ZsRQ16oE8w4jb817>
○申込締切 **令和5年3月17日(金)**



- 8 後援 国土交通省近畿地方整備局、独立行政法人水資源機構関西・吉野川支社、公益財団法人琵琶湖・淀川水質保全機構、水都大阪コンソーシアム、MLGs 推進委員会、公益社団法人関西経済連合会、大阪商工会議所
- 9 広報協力 大阪市高速電気軌道株式会社 (Osaka Metro) 、京阪ホールディングス株式会社
- 10 当日の取材について
- ・シンポジウムの開始から終了まで取材が可能です。
 - ・取材を希望される方は別途により事前にお知らせください。
 - ・当日、13時00分から受付を開始しますので、会場前にお越しください。
 - ・会場内でワイヤレスマイクを使用しますので、同会場内におけるワイヤレスマイク、トランシーバー等の無線を使用する機材の使用は御遠慮ください。

ファクシミリ 06-6445-8540

関西広域連合本部事務局地方分権課 宛

琵琶湖・淀川流域シンポジウム 取材申込書

提出日： 令和 5 年 月 日

所属(社名)		
来られる方全員の人数		人
内訳 (※1)	カメラクルー	人 カメラ台数
	記者	人
	技術	人
連絡先 (※2)	当日連絡の取れる電話番号	
	ファクシミリ	

(※1)内訳は、わからなければ空欄で構いません。また、人数等は予定で構いません。

(※2)当日急な変更等が発生した場合、関西広域連合からの連絡を希望される方は、連絡先を御記入ください。